

現 状	
人口の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・草津市の人口は増加傾向で推移しているが、令和 12 年をピークに減少に転じると推計されている ・高齢化が進行している ・健康寿命と平均寿命の差が小さい
立地・交通の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの「地区拠点」に位置付けられるロクハ公園内に立地している ・利用者アンケートでは 9 割程度が車で来訪している ・徒歩 3 分圏内にバス停が位置している
利用者層	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代（主に 30 代・40 代）の他、10 代の利用が多い ・利用者アンケートでは県内が 9 割以上（市内は 3 割以上）を占める ・両アンケートとも家族連れの利用が 8 割以上と多く子どものレジャー目的の利用が多いと推察される
プール利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で利用者数が落ち込んだものの、令和 5 年度には年間 5.5 万人程度まで回復している
プール施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・建設後、35 年以上を経過し、老朽化が著しい状況である ・特に劣化の激しい 25m プールは令和 5 年度から利用休止している ・利用者アンケートでは、プール施設の満足度は高い（7 割以上）
プール付帯施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・プール施設と同様に老朽化が進行し、アンケートでも老朽化、汚いことへの不満が多い（6～7 割程度） ・バリアフリー化やトイレの洋式化が進んでおらず、利用者アンケートの自由意見でも改善の要望が挙げられている ・管理棟及びプール横の機械室や倉庫等は処分制限期間を経過しておらず、構造躯体の取り壊しは不可となっている
関連施設の現況	<ul style="list-style-type: none"> ・競泳用屋内プールとして、（仮称）草津市立プールの整備が進行している ・市内には、レジャープール（矢橋帰帆島公園屋外プール）や複数の民間フィットネスプールが存在している
市民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・両アンケートの結果から、レジャープールへのニーズが 7～8 割程度と多い ・プール施設や遊具、休憩スペース等の充実を求める意見が特に多い

課 題
<p>①「地域のレジャープール」としての役割の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査での高い満足度（利用者の 7 割以上）を踏まえ、昭和 63 年の開設以降、広く市民等に利用されてきたファミリー向けレジャープールとしての役割を維持 ・近隣プールとの棲み分けや、流水プールやスライダープールへの満足が高い市民ニーズを踏まえたプール機能のアップデート ・特に市民・利用者アンケートとも 6 割程度の需要がある子ども向けレジャー機能の強化
<p>②効果的・効率的な老朽化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートで 6 割程度、利用者アンケートで 4 割程度の方が不満と感じている利用者の安全・安心の確保に資する大規模改修・更新等を含めた施設の老朽化対策 ・市民アンケートで 6 割程度、利用者アンケートで 4 割程度の方が不満と感じている衛生面や快適性を向上させる内装・設備等の更新
<p>③新たな魅力の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート調査結果を踏まえた新たなプール機能の検討（7～8 割程度の方が望むレジャー機能の強化） ・オフシーズンのプール利用を含めた新たな活用方法の検討 ・魅力的なイベント・プログラムの実施などソフト面の取組の充実
<p>④利用者満足度の更なる向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民・利用者アンケートの自由意見でも要望のあるトイレや更衣室等における衛生面や利便性の向上 ・プール付帯施設のバリアフリー対応 ・市民・利用者アンケートの中で要望の多い休憩スペース・売店等の充実 ・アンケート結果を踏まえた駐車場の充実（渋滞対策）
<p>⑤持続可能なプール施設の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の財政状況等を踏まえた持続的なプール施設の管理運営に資する適正な受益者負担の設定 ・管理運営の効率化を含めた事業計画の検討
<p>⑥ロクハ公園全体との調和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロクハ公園が持つ特色や自然と調和するプール施設のデザイン検討 ・ロクハ公園のレクリエーション機能との連携を踏まえたプール機能の検討

基本方針

地域に愛されるレジャープールとしての機能維持と魅力向上

再整備方針（修正案）		資料 4
基本的な考え方	<ol style="list-style-type: none"> ① ロクハ公園プールは利用者アンケートで満足度が高い（7 割以上）ことから、基本として現在の機能・施設を維持していくことが重要と考えられる。また、別途整備を進めている（仮称）草津市立プールとの機能の棲み分けも必要となる。（課題①へ対応） ② 市民アンケート、利用者アンケートともに不満が多かった、施設の古さ、汚さを改善していくことが、必須の条件である。（課題②④へ対応） ③ 満足度が高い理由として、流水プールやスライダープールがあることに加え、不満点としてプールの種類に魅力がないことが挙げられていること、室内の 25m のレジャー色の強い施設への変更に対する賛成意見が多かったこと（いずれのアンケートも 7 割～8 割程度）ことから、流水プール・スライダープールの機能は活かしながら、25m プールの用途転換を図っていく。（課題③④へ対応） ④ アンケート調査では、リニューアルにあたり望まれる施設として、小さな子供が水と触れ合える施設や、売店・飲食店、休憩スペースなどの要望が高いことから、これらの導入を目指していく。（課題③④へ対応） ⑤ 今後も継続的に運営が可能となる方策を導入する（財政負担の軽減）。（課題⑤へ対応） ⑥ プールだけではなく、周辺の自然との調和や機能との連携を考慮した芝生広場を整備する。（課題⑥へ対応） 	
委員会での主な意見	<p>《整備方針素案に対する意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年は猛暑であり、自分でテントを持ち込む人が多いため、日陰となる屋根を設置したほうが良い。 ・25m プール部分の屋根は、熱中症対策のためにもあったほうが良い。 ・25m プールを子供が遊べるレジャープールにしたほうが良い。 ・利用者が増えるため、監視や救急なども充実したほうが良い。 ・保護者が子供に目が届きやすくなった配置にしたほうが良い。現在は段差が多いので、段差をなくしたほうが良い。 ・遊水ゾーンはもう少し規模を大きくしたほうが良い。流水プールの中の島はもっと大きくしたほうが良い。 ・キッチンカーのエリアは芝生広場の所においても良い。レストラン等よりキッチンカーが良い。 ・65 歳以上の高齢者が孫を連れてくることもあるので、高齢者のエリアがあっても良い。 ・身長 120 cm 以下の子が利用できるスライダーがあると良い。非常時用のことも考えて、出入口は複数あったほうが良い。 <p>《その他の意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピーク時の駐車場対策が必要。シャトルバスなどの公共交通なども検討することが必要。 ・利用料金、駐車料金、市民への割引などの料金体系も今後検討が必要。 ・イベントなどのソフト施策も必要。プールエリア外も含めて検討できないか。 	
整備方針	<p>整備方針：現機能の更新・機能強化＋屋内プールの屋外レジャープール転用（仮称）草津市立プールとの差別化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「地域に愛されるレジャープール」としての機能は維持し、プール付帯施設を含めた高質化・機能強化を実施。 ➢ （仮称）草津市立プールと機能が重複する屋内プールについて、用途を転換し、新たなプール機能を導入。 ➢ 屋内幼児用プールでも遊ぶことが難しい年齢層の低い幼児でも水と触れ合うことができる新たな施設を導入。 <p>《整備内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○付帯施設の高質化（基本的な考え方②④に対応） <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ（洋式化、UD 対応、多目的利用）、ロッカー・更衣室の高質化、飲食施設の充実、休憩場所の充実 ○人気があり継続希望の多い流水プール、スライダープールの更新及び魅力向上（基本的な考え方①③に対応） <ul style="list-style-type: none"> ・流水プールの改修・再整備（中の島の活用、巨大バケツなど遊具の設置） ・スライダープールの改修・再整備（魅力向上、機能の付加（低学年用のスライダー等の設置など）） ○芝生広場との連携強化（基本的な考え方⑥に対応） <ul style="list-style-type: none"> ・プールと芝生広場を隔てる植栽を撤去しプールと芝生広場を一体化に休憩スペースなども確保 ○植栽を撤去した場所への幼児用の水遊び場の設置（基本的な考え方④に対応） ○屋内プールのレジャープールへの変更（基本的な考え方①③④に対応） <ul style="list-style-type: none"> ・屋内プール屋根の撤去による屋外（流水プールや芝生広場）との一体感の向上 ・利用者の多い家族連れへの魅力向上を目指し、アクティブに遊べるプール遊具を設置 ○近年の異常気象に対応した酷暑対策及び利用者増に対応した安全性・快適性の確保（委員会の意見に対応） <ul style="list-style-type: none"> ・日差しを避けられる日陰の創出（芝生広場へのパラソル等の設置、現 25m プール部分の屋根の再設置） ・ロッカー・更衣室、シャワー室などの高質化。救護室の設置や監視体制の強化などの安全対策の充実 ○多世代の方が楽しめる空間の形成（委員会の意見に対応） <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが快適に楽しめるユニバーサルデザインの導入 ・高齢者も楽しむ、寛げる施設（健康プール、孫を見守れる待合所、健康遊具など）の導入 <p>（基本的な考え方⑤については、上記により利用者・収益を増やし市の負担を軽減することを目指す）</p>	